

## 令和2年度三次市学力到達度検査

三次市では、本年1月に、市内小学校1年生から中学校2年生の児童生徒を対象に「学力到達度検査」を行いました。

この検査の目的は、児童生徒一人ひとりに「基礎・基本の力」と「活用する力<sup>\*</sup>」が定着しているかを把握し、授業改善を図り、より分かりやすい授業づくりを進めていくものです。

(※活用する力とは、「基礎・基本の力」をもとに、学習した内容を組み合わせて未知の課題を解決していく力)

### 実施内容

1 実施日 令和3年1月14日(木)、15日(金)

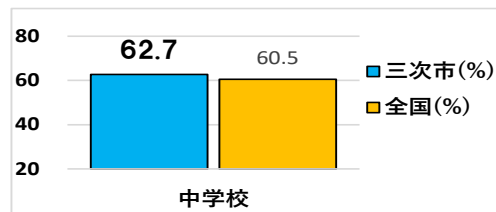
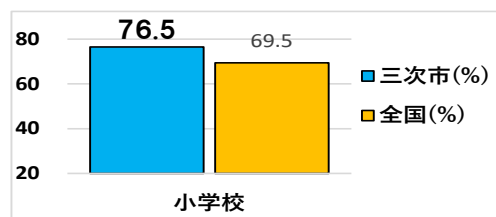
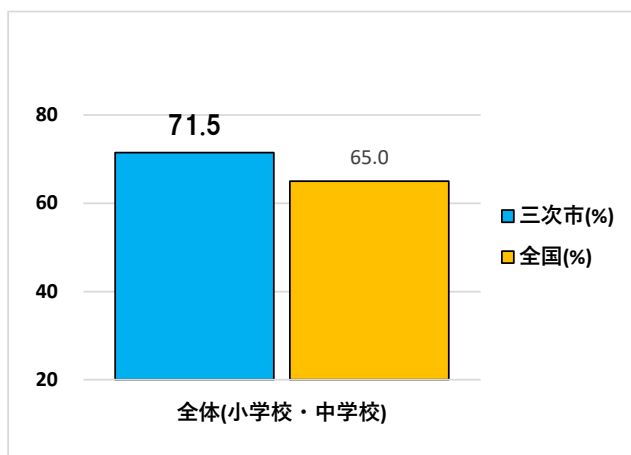
2 実施内容

(1) 対象児童・生徒 小学校第1学年～中学校第2学年の全児童・生徒

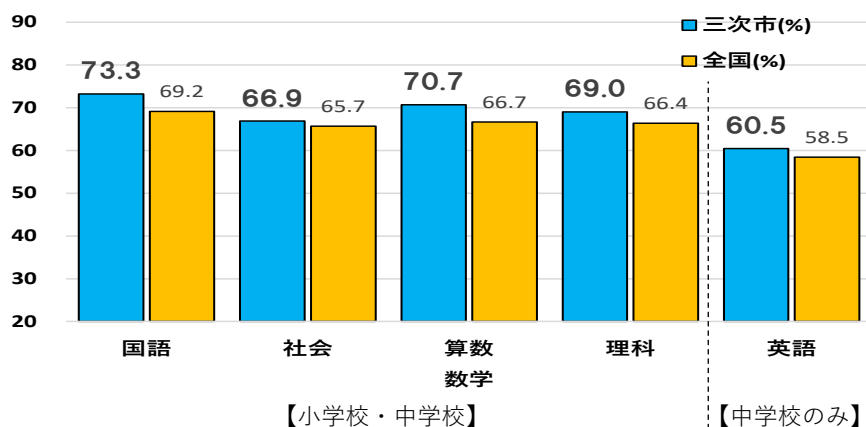
(2) 実施教科等  
小学校第1学年・小学校第2学年 国語・算数  
小学校第3学年～小学校第6学年 国語・算数・社会・理科  
中学校第1学年・中学校第2学年 国語・数学・英語・社会・理科  
小学校第2学年～中学校第2学年 生活・学習意識調査

(3) 使用問題 東京書籍「標準学力調査」全面改定版(3学期実施)

### 【全体の結果】全学年、全教科を合わせた平均点



### 【教科別の結果】教科ごと全学年を合わせた平均点



## 【結果概要】

小学校と中学校をあわせた全体の正答率は71.5%で全国平均を6.5ポイント上回りました。小学校、中学校共に全国平均を上回っており、学力はおおむね定着しています。教科別にみると、全ての教科で全国平均を上回る学力がついています。国語科と算数・数学科では、4ポイント以上上回っています。

問題の内容別に見ると「活用する力」に関する問題において、例えば「目的に応じて複数の資料から必要な情報を読み取る問題」や「適切な資料を選択する問題」等、資料を読み取る問題に課題が見られました。

### 今後に向けて学校では

資料を読み取る力を高めるために次の3点について取り組んでいきます。

- ① タブレット端末用学習ドリルや学習アプリを使うことで、児童生徒一人ひとりの理解のペースや苦手分野に合わせて学習を進めていきます。
- ② ICTを効果的に活用し、資料の収集をしたり整理したりする活動を行います。
- ③ 授業や家庭学習において、児童生徒が日常的に、新聞や図書を活用したり、多様なジャンルの読書を進めたりします。